



虫を捕らえたベニイトトンボ

生物多様性農業支援センター（旧・田んぼの生きもの調査プロジェクト）

西日本

## 田んぼの生きもの調査研修会

●開催日：

2008年6/2（月）～3（火） 1泊2日  
(13:30 講義開始) (15:30 終了)

●開催場所：

旅館 魚半

〒849-5131 佐賀県唐津市浜玉町浜崎 1669-55

TEL：0955-56-6234 JR 浜崎駅より徒歩7分

●定員：60名

（定員オーバー等の理由で、受講できない場合がありますのであらかじめご了承ください）

●参加申し込み：指定の申し込み用紙（別紙）にて

●参加費用：受講料 15,000 円（税込）、宿泊費+交流会費 14,000 円（税込）

●申し込み締め切り：2008年5月26日（月）必着（FAX または e-mail でお申込ください）

●お問い合わせ：生物多様性農業支援センター設立準備会（担当：石川）

●TEL：03-3245-1625（JA 全農広報部広報 SR 課気付）

●FAX：03-3245-1626 ●E-mail：tambo@wehab.jp



【主催】生物多様性農業支援センター設立準備会

## 田んぼの生きもの調査研修会 初級・中級編

平成 20 年 3 月「田んぼの生きもの調査プロジェクト」は発展的に解消し、NPO 法人 生物多様性農業支援センターが立ち上がろうとしています。ひきつづき、NPO 法人民間稲作研究所、NPO 法人農と自然の研究所、NPO 法人田んぼ、そして事務局が中心となって準備会として活動を進めています。

これまで各地で開催されてきた「田んぼの生きもの調査」も大きく一步を踏み出します。目的や農家、消費者といった参加者層別に「入門」「初級・中級」「上級」に分類し、それぞれの手法で調査を行います。

新たに生きもの調査ガイド（初級編、中級編）、ポケット図鑑（動物、植物編）、田んぼの草花ガイド（初級編）を作成し、それを使った新しい「田んぼの生きもの調査」の提案を行いたいと思っています。営農と環境の結びつきを、生きものの豊かさで証明する「田んぼの生きもの指標」作成を目指して引き続き、活動を進めます。

今回の研修会では、農家と消費者、幅広い市民を対象とした「初級・中級」の活動運営方法を学びます。これまでの「田んぼの生きもの調査」で培った英知を結集した研修会として開催いたします。生きもの調査の活動に関わる皆様、これから関わる皆様のご参加をお待ちしております。



### プログラム（概要、予定）

- はじめに 生物多様性農業支援センターの考える「田んぼの生きもの調査」
- 基調講演 初級、中級、上級それぞれの関わりと実践の方法など
- 調査方法と調査道具の説明  
初・中級編の関係とそれらを交えた調査方法の実際など
- コミュニケーション力  
田んぼの生きもの調査指導者としてのコミュニケーション力実習
- 現地調査  
調査の方法と実際、草花調査、虫見板調査、田面と畦の生きもの調査  
水質・土質、カエル、イトミミズ・ユスリカ、水路の魚類、雑草の調査など
- 調査結果のまとめ

## ■旅館魚半 アクセス MAP

旅館 魚半

〒849-5131 佐賀県唐津市浜玉町浜崎 1669-55

TEL : 0955-56-6234 JR 浜崎駅より徒歩 7 分



### ■車で

- 福岡より60分
- 熊本より120分
- 多久ICより40分

### ■地下鉄・筑肥線で

- (浜崎駅下車)
- 福岡空港より70分

### ■新幹線で

- (博多駅下車)
- 東京より5時間52分
- 大阪より3時間
- 広島より1時間16分

